

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら神戸伊川谷教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の満足度が高い	レクリエーションの子ども会議等を通じて、お子様たちの意見を取り入れながら、お子様達と一緒に教室づくりに取り組んでいます。またけん玉検定等を通じて、目標に向かって取り組み続ける継続力等の発達を意識した療育に取り組んでおります。	現在の取り組みを引き続き行いつつ、お子様達がより主体的に教室づくりに参加できるような支援を通して、前向きに療育活動に取り組めるよう努めて参ります。
2	プログラムが充実している	収穫体験・川遊び・バイキング体験等、季節感を取り入れながら、普段ご家族のみでは経験しにくい五感を使った自然体験や社会体験を意識したプログラム作りに取り組んでいます。また職員の専門性を活かしたプログラムの発案にも取り組んでおります。	現在の取り組みを継続しながら、レクリエーションの子ども会議等を通じて、よりお子様達のニーズを汲み取りつつ、新しいプログラムの発案にもより注力できるような環境づくりにも努めて参ります。
3	保護者様やお子様のニーズを汲み取った支援・ニーズに合った支援が提供できている	保護者様との密な報・連・相を行いながら、必要に応じて面談等の家族支援の機会を積極的に設けています。	保護者様との信頼関係を大切にしながら、SNS等での発信の一層の充実は図っていき、活動内容のお届けの向上にも努めて参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との連携が弱い	外部を活用した研修の機会が少ない、また自立支援協議会への参画が出来ていない為と考えております。	限られた時間・人員の中でも、研修や協議会などへの積極的な参加が出来る様な体制づくり・工夫に引き続き努めて参ります。
2	個別支援及び専門的支援の作成におけるカンファレンスの時間が少ない	シフト制により、職員全体で顔を合わせて共有できる時間が少ない為と考えております。	毎日の朝終礼でしっかり時間を設け、日々のお子様の様子や情報共有はしておりますが、月ごとに日にちや曜日を固定して、職員全員が全員出勤する機会を定期的に設けることが出来る様、引き続き努めて参ります。
3	送迎時等において、教室に残ることが出来る職員が少ない	限られた職員配置の中で、同時刻・多方面への送迎がある為と考えております。	安全面にも関わることなので、送迎人員の確保を優先しながら、今以上の多方面への送迎の増加とならないよう引き続き留意致します。